

第133回群馬県医師会臨時代議員会 議事録要旨

日時 平成27年2月26日(木)16時～16時45分
場所 群馬メディカルセンター4階小会議室

1. 開 会

(梅枝議長)・・・議席表のとおり

代議員総数72名に対し、出席者数69名、欠席者2名、欠員1名。
定款第25条第1項に定める定足数を超えたので会議成立。

議事録署名人として

福井正代議員(議席36番)、小屋淳代議員(議席54番)を指名。

1. 会長挨拶

・・・月岡会長

1. 会務報告

平成27年度群馬県医師会事業計画書の件・・・須藤副会長

平成27年度群馬県医師会収支予算書の件・・・猿木理事

平成25年度群馬県医師会会計決算の件・・・猿木理事

(質問なし)

1. 議 事

第1号議案 平成27年度群馬県医師会入会金、会費及び負担金の賦課徴収及び減免に関する件

・・・猿木理事

(質問なし)

(挙手多数)

定款第25条第2項の定めにより可決した。

1. 協 議

(質問あり)

○議席16番 片平均代議員から質問

議案書5頁にある「地域包括ケアシステムを支える機能として、SNSを活用」とあるが、実際の活用状況と今後の活用方法について教えて欲しい。

(回答)・・・長坂理事

昨年12月時点での参加医療機関数(アドレスを持った施設)は、460から470施設であった。しかし、患者がどのくらいいるのかは不明である。本県では、多職種連携のネットワーク構築を目指している。医師が積極的に参加することはなかなか難しく温度差がある。また、維持する経費が大変であることから、経費の負担を軽減する方法を模索しているところである。

高崎・安中地域でケアマネージャーの会を開催し、アンケートをとったところ、大変興味深い結果が出た。医師との連絡方法はどのような手段をとっているかとの問いに、これまでは、①郵送、②FAX、③電話、④訪問であったが、現在は、①訪問、②電話、③FAX、④郵送、⑤MCSとなり、医師との連絡も大きく変わり、医師との距離が身近になった。将来的には、地域の実情に合わせて、医師会と行政がリンクすることが重要と考える。

平成27年4月以降、国の補助事業として、渋川地区で病院からの退院支援のモデル事業が採択された。地域包括ケアシステムの本質であるので、協力して実施していきたい。

1. 閉 会